

【技術の名称】 床CCB-NAC工法 ー異形鉄筋を用いるひび割れ誘発目地付床スラブ 構法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 25-32 号 性能証明発効日：2025 年 12 月 23 日 【取得者】 CCB 工法協会工法研究会 (代表会社) 株式会社浅沼組
---	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造スラブ表面にひび割れ誘発目地として鉛直方向のカッター欠き込み目地、ひび割れ誘発材、および目地平行スラブ筋を一直線上に配置するものであり、床スラブの耐力を目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて、既往の設計式で評価することを目指した工法である。

【技術開発の趣旨】

従来の鉄筋コンクリートスラブの乾燥収縮ひび割れ対策は、コンクリートの表面に断面の切欠きを設けて、乾燥収縮ひび割れを目地位置に誘発するものである。しかし、部分的ではあるが、断面欠損があることにより耐力の低下が懸念されるため、通常は目地深さを減じたスラブ厚さにて設計を行う。本技術は、目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて既往の設計式で評価できることを確認し、施工において目地深さ分の増し打ちを不要とすることを可能としたものである。

【性能証明の内容】

申込者が提案する「床 CCB-NAC 工法 設計・施工指針」に従って設計・施工されたひび割れ誘発目地付床スラブは、目地無しの床スラブと同等の構造性能を有し、床スラブの耐力を目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて既往の設計式で評価できる。

○適用スラブ：鉄筋コンクリート造、鉄骨および鉄骨鉄筋コンクリート造建物の鉄筋コンクリート造スラブ、デッキスラブ（合成スラブを除く）、土型枠スラブ、ハーフ PCa スラブとする。なお、いずれのスラブ形式もボイドスラブは除く。

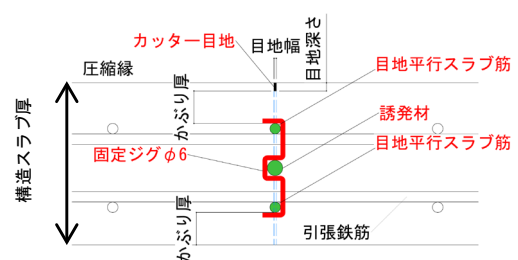


図 1 目地部構成部材

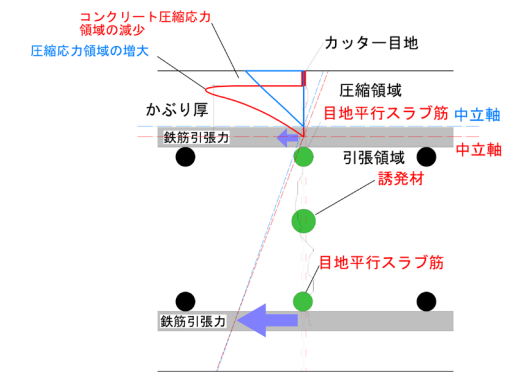


図 2 曲げ抵抗機構

表 1 適用範囲

コンクリート強度	21～45N/mm ²
スラブ厚	180～400mm
引張鉄筋比	0.5%以下
目地	幅 3mm、深さ 10mm

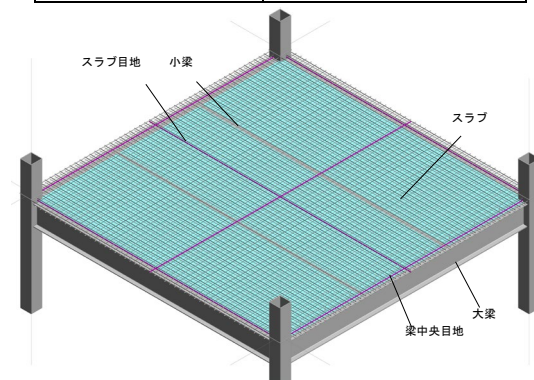


図 3 目地位置（S 造架構例）

【本技術の問合せ先】

CCB 工法協会工法研究会（㈱浅沼組、㈱熊谷組、西松建設㈱、㈱NIPPO、東亜建設工業㈱、飛鳥建設㈱、大日本土木㈱、㈱長谷工コーポレーション、五洋建設㈱、三井住友建設㈱、共立建設㈱、青木あすなろ建設㈱、松尾建設㈱）
（代表会社）株式会社浅沼組 担当者：松井亮夫 E-mail：matsui-akio@asanuma.co.jp
〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3 丁目 24 番 1 号 TEL：072-661-1620 FAX：072-661-1730